

令和5年度 研修事業概要

公益財団法人 かがわ健康福祉機構 研修部

目 次

I 令和5年度 研修計画

1 令和5年度研修事業計画	1
2 令和5年度研修事業体系図	2
3 令和5年度研修事業実施計画総括表	3
4 令和5年度研修事業実施計画概要	4
5 令和5年度研修事業計画スケジュール	9

II 令和4年度 研修実施状況

1 令和4年度研修事業実績総括表	10
2 令和4年度研修事業実施状況	12

I 令和5年度 研修計画

1 令和5年度 研修事業計画

(1) 基本方針

少子高齢化が急速に進む中、わが国では、いわゆる「団塊の世代」が75歳以上となる2025年を見据えて、高齢者が介護を必要とする状態になったとしても、できる限り住み慣れた地域で、その人らしい生活を続けることができるよう、医療・介護・住居・生活支援サービス等が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の推進に向けた取り組みが、課題になっています。

2025年が近づく中、介護ニーズが高い85歳以上人口の急速な増加や認知症高齢者の増加が見込まれており、介護サービス需要の増加や多様化が想定されます。

こうした中で、利用者の視点に立って切れ目のない医療及び介護の提供体制を構築し、一人一人の自立と尊厳を支えるケアを将来にわたって持続的に実現していくことが求められているところです。

当研修部では、福祉・介護に携わる人たちの専門的知識及び技術の向上を図るとともに、組織性を高める研修を行い、社会の変化に伴い多様化するニーズに対応できる質の高い人材を養成します。

(2) 研修目標

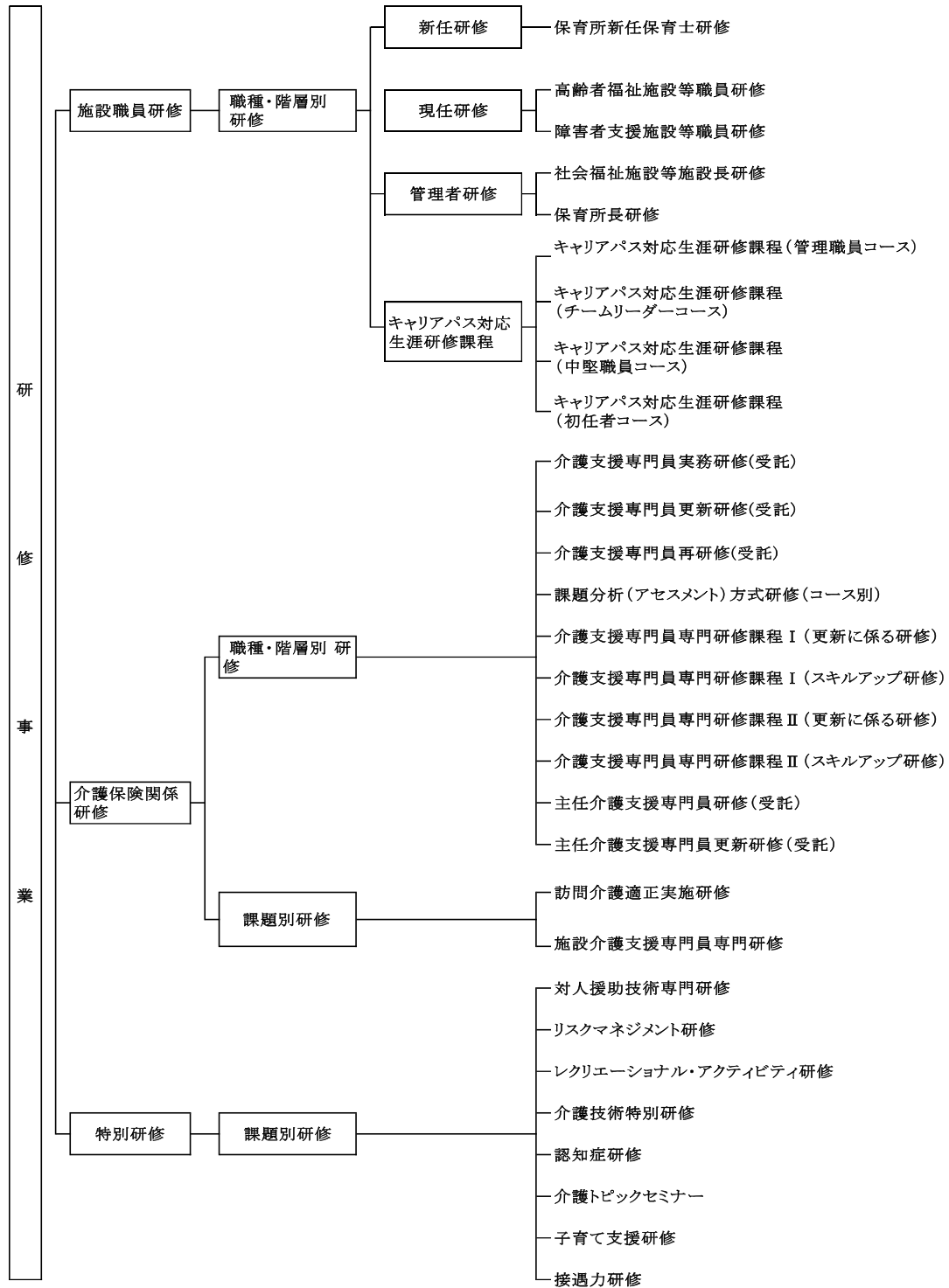
- ① 各種社会福祉事業等に携わる者の専門的知識・技術の修得、介護支援専門員のケアマネジメント能力等の向上及び介護現場を担う職員の資質向上を図ります。
- ② 実践を重視し、問題解決能力を培います。
- ③ 職場内研修や自己啓発を支援し、組織人としての能力と意識を高めるとともに必要な情報の提供を図ります。

(3) 研修事業計画

社会福祉事業等に従事する者の資質向上や福祉・介護ニーズの多様化に対応した人材の育成を図るため、施設種別、階層別及び課題別等に各種の研修を実施するとともに、介護保険事業におけるケアマネジメントの専門性を高めるための研修を充実させるなど、現場で活かせる効果的な研修を実施していきます。

さらに、介護支援専門員研修は、座学による自宅等で受講が可能なeラーニングを実施するとともに、演習は原則、オンライン研修で実施します。

2 令和5年度 研修事業体系図



3 令和5年度 研修事業実施計画総括表

研修体系			N0	研修名	開催予定月	日数	受講定員	摘要
施設職員研修	職種・階層別研修	新任	1	保育所新任保育士研修	5月	2日間×1回	90	
		現任研修	2	高齢者福祉施設等職員研修	8月	1日間×1回	90	
			3	障害者支援施設等職員研修	9月	1日間×1回	90	
		管理者研修	4	社会福祉施設等施設長研修	9月	1日間×1回	90	
			5	保育所長研修	7月	1日間×1回	90	
		キャリアパス研修課程	6	キャリアパス対応生涯研修課程 (管理職員コース)	10月	2日間×1回	50	
			7	キャリアパス対応生涯研修課程 (チームリーダーコース)	9月	2日間×1回	50	
			8	キャリアパス対応生涯研修課程 (中堅職員コース)	8月	2日間×1回	50	
			9	キャリアパス対応生涯研修課程 (初任者コース)	6月	2日間×1回	50	
介護保険関係研修	職種・階層別研修		10	介護支援専門員実務研修	12月～3月	10日間×2回	252	定員は、3コース合算 10日間又は6日間の日程で、実務・再・更新の3コースを同時開催
			11	介護支援専門員更新研修	12月～3月	10日間×2回		
			12	介護支援専門員再研修	12月～3月	10日間(未経験者)又は6日間(経験者)×2回		
			13 14	要介護認定・課題分析 (アセスメント)方式別研修	1月	1日間×2方式	90	2種類(2コース)の方式別を実施
			15	介護支援専門員専門研修課程Ⅰ (更新に係る研修)	6月～7月	6日間×1回	90	定員は、更新研修とスキルアップ研修受講者を合算
			16	介護支援専門員専門研修課程Ⅰ (スキルアップ研修)	6月～7月	6日間×1回		
			17	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ (更新に係る研修)	5月～6月 9月～10月	4日間×2回	252	定員は、更新研修とスキルアップ研修受講者を合算
			18	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ (スキルアップ研修)	5月～6月 9月～10月	4日間×2回		
			19	主任介護支援専門員研修	10月～12月	9日間×1回	60	
			20	主任介護支援専門員更新研修	8月～9月	4日間×1回	90	
			21	訪問介護適正実施研修	7月	1日間×1回	90	
特別研修	課題別研修		22	施設介護支援専門員専門研修	9月	1日間×1回	90	
			23	対人援助技術専門研修	7月	7日間×1回	90	
			24	リスクマネジメント研修	8月	1日間×1回	90	
			25	レクリエーション・アクティビティ研修	5月	1日間×1回	70	
			26	介護技術特別研修	7月	1日間×1回	90	
			27	認知症予防研修	11月	1日間×1回	90	
			28	介護トピックセミナー(口腔ケア、福祉用具の活用)	10月	1日間×1回	90	
			29	子育て支援研修	10月	1日間×1回	90	
			30	接遇力研修	11月	1日間×1回	90	

4 令和5年度 研修事業実施計画概要①

研修体系		研修名	研修目的	対象者	研修内容
施設職員研修	新任研修	1 保育所新任保育士研修	新任保育士に必要な基礎知識及び社会人としての職場における適応力を培う。	保育経験年数2年未満の者で本研修の未受講者	・保育行政の動向 ・仲間となった先生方へ ・子どもの発達と保育士の役割 ・乳幼児の事故防止と応急処置 ・先のない時代を生き抜く為のコミュニケーション ・幼児期の発達段階と運動遊びへの誘い(いざない)
	現任研修	2 高齢者福祉施設等職員研修	高齢者福祉施設等における利用者満足への取り組みや利用者の自己決定・問題解決に向けた支援を理解、実践できるように施設等職員として必要な専門的知識及び技術の修得を図る。	高齢者福祉施設、介護保険関係事業所等の職員、または受講を希望する者 (中堅スタッフ、リーダー、管理職、施設長まで可)	・自立を支援するコミュニケーションスキル
		3 障害者支援施設等職員研修	障害者福祉をめぐる法制度・施策の動向や障害者の現状を学ぶとともに、根底にある障害者福祉の理念を改めて考え、それに基づく個別支援の手法を学ぶことにより、障害者福祉に携わる職員の資質の向上を図る。	指定障害福祉サービス事業所・障害者支援施設等の職員又は受講を希望する者	・「障害があるとはどういうことだろうか」ほか
管理者研修		4 社会福祉施設等施設長研修	利用者一人ひとりが、その人らしく暮らせる支援について考えとともに、組織の運営責任者として現代の社会情勢に適応した施設のあり方を学び、専門性の向上等を図る。	社会福祉施設等の施設長又は準ずる者	・福祉現場の人材育成
		5 保育所長研修	保育をめぐる社会的要請や子育て支援のニーズが多様化する中、保育所として重大事故を起こさないための予防の基本的な考え方や予防の重要性、具体的な事故事例ごとの対策、また、子どもの多様性を尊重し、子どもの声を聴く実践と園内研修のあり方について学び、保育所長としての資質向上を図る。	保育所(園)長、認定こども園長等	・弁護士立場で考える保育所におけるリスクマネジメント ・子どもの声を聴く実践と園内研修のあり方
キャリアパス対応生涯研修課程	職種・階層別研修	6 管理職員コース	①職員：自身のキャリアアビジョンを描き、知識・能力を段階的・体系的に習得する。 ②組織：職場でのキャリアパスを構築し、福祉人材の確保と定着を図る。	・近い将来、管理者の役割を担うことが想定される指導的立場の職員 ・現に小規模事業者管理者、部門管理者等に就いている職員	・基礎科目の講義と演習 ・基礎科目の講義と演習 ・重点科目の講義と演習 ・啓発科目の講義と演習 ・行動指針の策定 ・キャリアデザインとアクションプラン策定
		7 チームリーダーコース		・近い将来、チームリーダー等の役割を担うことが想定される中堅職員 ・現に主任、係長等に就いている職員	
		8 中堅職員コース		・担当業務の独力遂行が可能なしレベルの職員 (入職後、概ね3～5年の職員)	
		9 初任者コース		・新卒入職後、2年程度の職員 ・他業界から福祉職場へ入職後、2年程度の職員	

4 令和5年度 研修事業実施計画概要②

研修体系		研修名	研修目的	対象者	研修内容
介護保険関係研修 職種・階層別研修	10	介護支援専門員実務研修	介護支援専門員として利用者の自立支援に資するケアマネジメントに関する必要な知識及び技能を修得し、地域包括ケアシステムの中で、医療との連携をはじめとする多種協働を実践できる介護支援専門員の養成を図る。	介護支援専門員実務研修受講試験の合格者	～e-ラーニングとオンライン双方向型研修～ 【e-ラーニングでの講義】 ・介護保険制度の理念・現状とケアマネジメント ・人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理 ・地域包括ケアシステム及び社会資源 ・ケアマネジメントに必要な医療連携及び多職種協働の意義 ・ケアマネジメントに係る法令等の理解 ・ケアマネジメントのプロセス ・下記、①～⑮の【講義・演習】科目の【講義】部分 【オンライン研修】 ①自立支援のためのケアマネジメントの基本 ②相談援助の専門職としての基本姿勢及び相談援助技術の基礎 ③介護支援専門員に求められるマネジメント（チームマネジメント） ④利用者、多くの種類の専門職等への説明及び合意 ⑤～⑨ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術（1）～（5） ・実習オリエンテーション(実務) ・見学・観察実習の代替講義（1）（2）(実務) ・実習振り返り(実務) ⑩～⑮ケアマネジメントの展開（1）～（6） ・アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習 ・研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り(実務) ※国の研修カリキュラムによる
	11	介護支援専門員再研修	介護支援専門員として実務に就いていない者又は実務から離れている者が今後実務に就くために、介護支援専門員としての必要な知識及び技能の再修得を図る。	介護支援専門員証の有効期間が満了した者（研修受講中に有効期間が満了する者も含む）で、新たに介護支援専門員証の交付を受けようとする者	
	12	介護支援専門員更新研修	介護支援専門員証の有効期限を更新する時に研修の受講を課すことにより、定期的な研修の機会を確保し、介護支援専門員として、必要な知識及び技術の向上を図り、専門職としての能力の保持・向上を図る。	介護支援専門員証の有効期間が、令和7年3月31日以前に満了する者で、以下の①又は②に該当し、有効期間満了後に実務に就く予定の者 ①「実務未経験者」：介護支援専門員証の交付を受けた後、その有効期間が満了するまでに介護支援専門員として実務に従事した経験を有しない者 ②「実務経験者」：介護支援専門員証の有効期間中に、介護支援専門員として実務に従事していた者で、現在、介護支援専門員の業務をしていない者、又は、現在、介護支援専門員として業務に従事しているが、専門研修課程が修了していない者	
	13 14	要介護認定・課題分析(アセスメント)方式別研修	介護支援専門員実務研修の実施に当たり、要介護認定及び課題分析（アセスメント）の各方式について理解を深める。	介護支援専門員実務研修の受講者及び受講希望者	(1) 要介護認定研修 (2) 課題分析（アセスメント）方式別研修会 ① 居宅サービス計画ガイドライン方式 ② 三団体ケアプラン策定研究会方式

4 令和5年度 研修事業実施計画概要③

研修体系		研修名	研修目的	対象者	研修内容
介護保険関係研修 職種・階層別研修	15	介護支援専門員専門研修 課程Ⅰ (更新に係る研修)	介護支援専門員としての一定の実務経験をもちに、必要に応じた専門知識及び技能の修得を図ることにより、その専門性を高め、多様な疾病や生活状況に応じて、医療との連携や多職種協働を図りながらケアマネジメントを実践できる知識・技術を修得し、もって介護支援専門員としての資質の向上を図る。	実務経験者※で、介護支援専門員証の有効期間満了日が、令和6年10月末日以前の者 ※実務経験者とは：現在所持している介護支援専門員証の有効期間中に、介護支援専門員として実務に従事している又は従事していた経験を有する者	～e-ラーニングとオンライン双方向型研修～ 【e-ラーニングでの講義】 ・介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状 ・ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践 ・ケアマネジメントの実践における倫理 ・対人個別援助技術及び地域援助技術 ・個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習 ・認知症に関する事例ほか7領域の講義 【オンライン研修】 ・ケアマネジメント実践の振り返りと学習課題の設定Ⅰ～Ⅱ ・ケアマネジメント(7領域)の演習 ・研修全体を振り返っての意見交換、講評、ネットワーク作り ※国の研修カリキュラムによる
	16	介護支援専門員専門研修 課程Ⅰ (スキルアップ研修)		原則として、介護支援専門員として現在、実務に従事しており、就業後6か月以上の者	
	17	介護支援専門員専門研修 課程Ⅱ (更新に係る研修)		実務経験者※で、介護支援専門員証の有効期間満了日が、令和6年6月末日以前の方(5月～6月開催の場合)、または令和6年10月末日以前の方(9月～10月開催の場合)で、次の①②のいずれかにあたる者。 ①かつて、専門研修課程Ⅰ(又はⅠが免除となる研修)または専門研修課程Ⅱを修了の上、介護支援専門員証の有効期間更新をしたことがある者。 ②現在所持している介護支援専門員証の有効期間満了日前5年以内に、専門研修課程Ⅰを修了している者。 ※実務経験者とは：現在所持している介護支援専門員証の有効期間中に、介護支援専門員として実務に従事している又は従事していた経験を有する者。	
	18	介護支援専門員専門研修 課程Ⅱ (スキルアップ研修)		原則として、介護支援専門員として現在実務に従事しており、就業後概ね3年以上の方で、次の①②のいずれかにあたる者。 ①かつて、専門研修課程Ⅰ(又はⅠが免除となる研修)及び専門研修課程Ⅱを修了の上、介護支援専門員証の有効期間更新をしたことがある者。 ②現在所持している介護支援専門員証の有効期間満了日前5年以内に、専門研修課程Ⅰを修了している者。	

4 令和5年度 研修事業実施計画概要④

研修体系		研修名	研修目的	対象者	研修内容
介護保険関係研修	職種・階層別研修	19 主任介護支援専門員研修	介護保険サービスや他の保健・医療・福祉サービスを提供する者との連絡調整、他の介護支援専門員に対する助言・指導などケアマネジメントが適切かつ円滑に提供されるために必要な業務に関する知識及び技術を修得するとともに、地域包括ケアシステムの構築に向けた地域づくりを實踐できる主任介護支援専門員の養成を図る。	介護支援専門員の業務に関し、十分な知識と経験を有する者であり、利用者の自立支援に資するケアマネジメントが実践できていると認められる者で、専門Ⅰ及び専門Ⅱの修了者のうち、４項目の一定要件のいずれかに該当する者	～e-ラーニングとオンライン双方向型研修～ 【e-ラーニングでの講義】 ①主任介護支援専門員の役割と視点 ②ケアマネジメントの実践における倫理的な課題に対する支援 ③ターミナルケア ④人材育成及び業務管理 ⑤運営管理におけるリスクマネジメント ・下記、⑥～⑧の講義 【オンライン研修】 ⑥ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実現 ⑦地域援助技術 【集合研修】 ⑧対人援助者監督指導 ⑨個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導・支援の展開(1)～(2) ※国の研修カリキュラムによる
		20 主任介護支援専門員更新研修	主任介護支援専門員に対して、主任介護支援専門員研修修了証明書の有効期限の更新時に併せて、研修の受講を課すことにより、継続的な資質向上を図るための定期的な研修受講の機会を確保し、主任介護支援専門員の役割を果たしていくために必要な能力の保持・向上を図る。	次の研修を修了した者のうち、研修修了後から令和5年3月31日までに下記の受講要件を満たしている者 ・平成30年度主任介護支援専門員研修または主任介護支援専門員更新研修 ・令和元年度主任介護支援専門員研修または主任介護支援専門員更新研修	～e-ラーニングとオンライン双方向型研修～ 【e-ラーニングでの講義】 ・介護保険制度及び地域包括ケアシステムの動向(240分) ・認知症に関する事例ほか7領域の講義 【オンライン研修】 ・主任介護支援専門員としての実践の振り返りと指導及び支援の実践(7領域)
課題別研修		21 訪問介護適正実施研修	訪問介護事業所のサービス提供責任者等として、介護保険法や老人福祉法等によって規定されたサービスについての理解を深め、サービス提供責任者としての立場の自覚と責任ある業務の遂行能力の向上を図る。	指定訪問介護事業所のサービス提供責任者等	・サービス提供責任者に必要な医療知識や緊急時対応 ・サービス提供責任者の役割 ・自立支援の知識を深める ・事例に基づき介護計画書を作成する。 ・持ち寄った困難事例について考える。
		22 施設介護支援専門員専門研修	リスクマネジメントの要となる施設介護支援専門員に対して、施設介護サービスのリスク管理や施設介護支援専門員の役割の理解を深め、生活の質を向上する介護サービスの計画書の策定について、講義と演習により実践的に学ぶ。	相談員、支援員、指導員、介護職、介護支援専門員、カウンセラー、ソーシャルワーカーその他の対人援助・相談援助業務の従事者及び関心のある方	・施設介護サービスでのリスク ・介護施設におけるリスクマネジメント ・施設介護支援専門員の役割 ・ケアプランニング (予定)

4 令和5年度 研修事業実施計画概要⑤

研修体系	N0	研修名	研修目的	対象者	研修内容
特別研修 課題別研修	23	対人援助技術専門研修	対人援助技術のスキルアップを図り、様々な課題やニーズをもつ来談者・利用者に対する応用力・実践力を高めるとともに、自己理解を深めることにより、相談面接や対人援助の業務に携わっている方の資質の向上と意欲の増進を図る。	相談員、支援員、指導員、介護職、介護支援専門員、カウンセラー、ソーシャルワーカーその他の対人援助・相談援助業務の従事者及び関心のある方	・信頼関係を醸成する話の聴き方を学ぶ ・職場でストレスマネジメント
	24	リスクマネジメント研修	施設や職場におけるリスクマネジメントの実践について学び、トラブル発生時の対応や予防の能力を高め、安定した業務活動の継続を図る。	施設・事業所において、危機管理を担当する職員 受講希望者	・介護現場の損害賠償リスク対策 ・職場全体で取り組むBCP（事業継続計画） (予定)
	25	レクリエーション・アクティビティ研修	高齢者・障害者の生活の質を高め日常が豊かになるよう、レクリエーションを介護の中に取り入れて楽しく介護を行う方法や、レクリエーション素材のアレンジ等の具体的実施方法を学ぶと共に、入所施設やデイサービスの習得を図る。	入所施設やデイサービスセンター等においてレクリエーション及び介護予防プログラムを担当する職員、または受講希望者	・フレイルについて ・スポーティゲーム（実技）
	26	介護技術特別研修	日々の介護を振り返り、エビデンスとエンパワメントに基づき介護を考えるとともに、今、最も新しく、専門性の高い技術を学ぶことにより、介護者としての資質の向上を図る。	社会福祉施設等で直接介護にあたる職員 受講希望者	・介護実践における合理的配慮とは (予定)
	27	認知症予防研修	認知症の予防から、重度化をくい止めるための二次予防やリハビリテーションの方法等を学び、認知症介護の知識と技術のさらなる向上を図る。	認知症介護（予防）に従事する方 受講希望者	・認知症ケアに活かす行動療法 ・認知症の人の意思決定支援 (予定)
	28	介護トピックスセミナー(口腔ケア、福祉用具の活用)	在宅や施設・事業所などの介護現場が抱える課題のうち、口腔ケア及び感染対策について理解を深めるとともに、具体的な実践方法を学び、QOL（生活の質）の向上や尊厳の保持に係る専門性の一層の向上を図る。	介護、看護等に従事する職員 受講希望者	・感染に留意しながら感染予防 ・自立の支援とケアの質向上に向けた環境整備 (予定)
	29	子育て支援研修	子育てを支援・活性化していくため、地域における子育てに携わる方々の、子育て支援に関する知識を深めるとともに、技術の習得を図る。	保育所・地域子育て支援センターの職員、子育てボランティアとして活動中の方、児童館職員、市町児童福祉担当職員等	・子育て支援は保育の要 ・保育現場で活かせる美術工芸 (予定)
	30	接遇力研修	医療・福祉などの現場で働く方の組織人としての役割や接遇について学ぶとともに、メンタルケアについての知識を身につけ実践できるようにして、職務遂行のために必要な適応力やストレス対応力を養う。	医療機関や福祉施設等で働く職員 受講希望者	・今の時代を生き抜くための接遇UP術 (予定)

※研修内容については、変更することがあります。

5 令和5年度 研修事業計画スケジュール

月	自主研修	受託研修	介護支援専門員研修
4			
5	・ 保育所新任保育士研修(2日間) 1 ・ レクリエーション・アクティビティ研修 25		・ 専門研修課程Ⅱ ① (～6月・全4日間) 17 18
6	・ キャリアパス対応生涯研修課程 (初任者コース2日間) 9		・ 専門研修課程Ⅰ (～7月・全6日間) 15 16
7	・ 訪問介護適正実施研修 21 ・ 対人援助技術専門研修 23 ・ 介護技術特別研修 26	・ 保育所長研修 5	
8	・ リスクマネジメント研修 24 ・ 高齢者福祉施設等職員研修 2 ・ キャリアパス対応生涯研修課程 (中堅職員コース2日間) 8		・ 主任介護支援専門員更新研修 (～9月・全4日間) 20
9	・ キャリアパス対応生涯研修課程 (チームリーダーコース2日間) 7 ・ 障害者支援施設等職員研修 3 ・ 施設介護支援専門員専門研修 22 ・ 社会福祉施設等施設長研修 4		・ 専門研修課程Ⅱ ② (～10月・全4日間) 17 18
10	・ 介護トピックセミナー 28 ・ キャリアパス対応生涯研修課程 (管理職員コース2日間) 6 ・ 子育て支援研修 29		・ 主任介護支援専門員研修 (～12月・全9日間) 19
11	・ 認知症予防研修 27 ・ 接遇力研修 30		
12			・ 実務・更新・再研修 (～3月・全10回・2コース) 10 11 12
1	・ 要介護認定・課題分析(アセスメント) 方式別研修 13 14		
2			
3			

※計画スケジュールは、変更することがあります。

Ⅱ 令和4年度 研修実施状況

1 令和4年度 研修事業実績総括表①

研修体系			N0	研修名	開催日	日数	受講者数	延べ人数	備考
施設職員研修	職種・階層別研修	新任	1	保育所新任保育士研修	5月25日(水)、26日(木)	2日間×1回	87	174	
		現任研修	2	高齢者福祉施設等職員研修	8月19日(金)	1日間×1回	33	33	
			3	障害者支援施設等職員研修	9月15日(木)	1日間×1回	40	40	
		管理者研修	4	社会福祉施設等施設長研修	10月5日(水)	1日間×1回	33	33	
			5	保育所長研修	7月26日(火)	1日間×1回	70	70	
		キャリアパス研修課程	6	キャリアパス対応生涯研修課程(初任者コース)	6月16日(木)、17日(金)	2日間×1回	41	82	
			7	キャリアパス対応生涯研修課程(中堅職員コース)	8月26日(金)、27日(土)	2日間×1回	31	62	
			8	キャリアパス対応生涯研修課程(チームリーダーコース)	9月3日(土)、7日(水)	2日間×1回	34	68	
			9	キャリアパス対応生涯研修課程(管理職員コース)	10月13日(木)、14日(金)	2日間×1回	31	62	
介護保険関係研修	職種・階層別研修		10	介護支援専門員実務研修	Aコース 12月22日(木)～3月14日(火) Bコース 12月24日(土)～3月18日(土)	12日(実務)、10日又は7日(更新・再)×2コース	77	924	講義部分は、eラーニングを導入(36時間) 前期5日間、後期5日間、講義と演習を2コース(実質20日間)、見学・観察実習代替講義(2日間)をWeb研修で実施
			11	介護支援専門員更新研修			123	1,057	
			12	介護支援専門員再研修			38	373	
			13 14	要介護認定・課題分析(アセスメント)方式別研修	1月11日(水)	1日間×2コース	58	58	方式別に実施
			15	介護支援専門員専門研修課程Ⅰ(更新に係る研修)	6月21日(火)、25日(土)、28日(火)、7月1日(金)、13日(水)、16日(土)【全6日間】	6日間×1回	49	294	講義部分は、eラーニング(23時間) 講義・演習は、Web研修
			16	介護支援専門員専門研修課程Ⅰ(スキルアップ研修)		6日間×1回	47	282	
			17	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ(更新に係る研修)	Aコース：5月27日(金)、31日(火)、6月3日(金)、11日(土)【4日間】	4日間×1回	95	380	講義部分はeラーニング(15時間) 講義・演習は、Web研修
					Bコース：9月28日(水)、10月3日(月)、11日(火)、15日(土)【4日間】	4日間×1回	92	368	
			18	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ(スキルアップ研修)	Aコース：5月27日(金)、31日(火)、6月3日(金)、11日(土)【4日間】	4日間×1回	26	104	講義部分はeラーニング(15時間) 講義・演習は、Web研修
					Bコース：9月28日(水)、10月3日(月)、11日(火)、15日(土)【4日間】	4日間×1回	32	128	
			19	主任介護支援専門員研修	10月22日(土)、28日(金)、11月3日(木)、5日(土)、12(土)、17日(木)、24日(木)、30日(水)、12月7日(水)【全9日間】	9日間×1回	66	591	講義部分はeラーニング(24時間) Web研修(2日間) 集合演習(7日間)
			20	主任介護支援専門員更新研修	8月17日(水)、24日(水)、9月2日(金)、10日(土)【全4日間】	4日間×1回	85	340	講義部分は、eラーニング(18時間) 講義・演習は、Web研修

1 令和4年度 研修事業実績総括表②

研修体系		N0	研修名	開催日	日数	受講者数	延べ人数	備考
介護保険関係研修	課題別研修 特別研修	21	サービス提供責任者実践力研修	9月9日（金）、21日（水） 【全2日間】	2日間×1回	43	77	2日目はWeb研修
		22	施設介護支援専門員専門研修	9月22日（木）	1日間×1回	38	38	
23		対人援助技術専門研修	7月22日（金）	1日間×1回	36	36		
24		リスクマネジメント研修	8月9日（火）	1日間×1回	52	52		
25		レクリエーショナル・アクティビティ研修	6月10日（金）	1日間×1回	51	51		
26		介護技術特別研修	8月2日（火）	1日間×1回	46	46		
27		認知症予防研修	11月11日（金）	1日間×1回	53	53		
28		介護トピックセミナー	10月6日（木）	1日間×1回	31	31		
29		子育て支援研修	10月19日（水）	1日間×1回	34	34		
30		接遇力研修	11月16日（水）	1日間×1回	44	44		
合計		30 講座・90 日				1,616	5,985	

2 令和4年度 研修事業 実施状況

1 施設職員研修

【職種・階層別研修】

＜新任研修＞

(1) 保育所新任保育士研修 1

目 的	新任保育士に必要な基礎知識及び社会人としての職場における適応力を培う。					
対象者	保育経験年数2年未満の者で本研修の未受講者					
日 程	令和4年5月25日（水）、26日（木）	研修会場	社会福祉総合センター 大会議室			
開 催 日 数	2日間×1回	受講者数	実人数	87人	延べ人数	174人
	科 目	時 間	講 師：職・氏 名			
1 日 目	保育行政の動向	0:50	香川県子ども政策推進局 子ども家庭課 課長補佐 近藤 正行			
	新任保育者に求められる社会的スキル	2:00	元高松短期大学 保育学科 准教授 山本 幾代			
	子どもの発達と保育士の役割	1:30	香川県視覚障害者福祉センター館長 （臨床心理士） 元 子ども女性相談センター所長 岡 悦子			
	乳幼児の事故防止と応急処置	1:50	香川県立保健医療大学 保健医療学部看護学科 准教授 三浦 浩美			
2 日 目	『コロナ禍での今どき接遇マナー』 ～すぐに実践できる職場でのコミュニケーションマナー力up術～	3:00	人材育成のスペシャリスト 株式会社ミズ・オフィス 代表取締役 土居 珠見			
	幼児期の発達段階と運動遊びへの誘い（いざない） ～ソーシャルディスタンス遊びの紹介～	3:00	香川大学 非常勤講師 澤 宜英			
主な意見						
○ 保育行政の動向では、目の前の仕事に追われて考えられていない部分を知ることができた。						
○ 2日目は実際に動いたり、ボールで遊んだりして保育現場ですぐに導入可能な内容だった。						
○ 研修を受けてみてマナーだったり、子どもの発達のことだったり、いろいろと学ぶことが多かった。1年目できついこともあるが今日の受講を日々かみしめながら頑張っていきたい。						

<現任研修>

(1) 高齢者福祉施設等職員研修 2

目 的	高齢者福祉施設等における利用者満足への取組みや利用者の自己決定・問題解決に向けた支援を理解、実践できるよう施設等職員として必要な専門的知識及び技術の修得を図る。					
対象者	高齢者福祉施設、介護保険関係事業所等の職員、または受講を希望する者（中堅スタッフ、リーダー、管理職、施設長まで可）					
日 程	令和4年8月19日（金）	研修会場	社会福祉総合センター 大会議室			
開 催 日 数	1日間×1回	受講者数	実人数	33人	延べ人数	33人
科 目		時 間	講 師：職・氏 名			
自立を支援するコミュニケーションスキル ～ティーチングとコーチングの使い分け～ 【講 義】 スタッフの成長に応じたティーチングとコーチングの使い分け 1) やる気とやりがい 2) 定着・成長のためのキャリアパス 【演習1】 指示トレーニング 確実に伝わり、相手を動かす指示の方法を学ぶ 【演習2】 助言トレーニング 相手の役立つ効果的な助言の方法を学ぶ 【演習3】 コーチング・トレーニング 自己決定と自己解決を支える質問の方法を学ぶ		5:00	東京女子医科大学 看護学部 人文社会科学系 准教授 諏訪 茂樹			
主な意見 ○ コーチング・チャートを使っでの会話がとてもおもしろかった。 ○ 雑談を含めながらの講義だったので集中して受けることができた。演習も多く、指示の難しさや重要性がよく理解できた。 ○ コーチングとティーチングの使い分けがよくわかった。						

(2) 障害者支援施設等職員研修 **3**

目 的	障害者福祉をめぐる法制度・施策の動向や障害者の現状を学ぶとともに、根底にある障害者福祉の理念を改めて考え、それに基づく個別支援の手法を学ぶことにより、障害者福祉に携わる職員の資質の向上を図る。					
対象者	指定障害福祉サービス事業所・障害者支援施設等の職員又は受講を希望する者					
日 程	令和4年9月15日（木）	研修会場	社会福祉総合センター 大会議室			
開 催 日 数	1 日間×1 回	受講者数	実人数	40 人	延べ 人数	40 人
科 目		時 間	講 師：職・氏 名			
【講義】 障害があるとはどういうことだろうか		5:00	香川大学 教育学部 教授 坂井 聡			
主な意見						
○ 実践や体験のようなものがあってよかった。						
○ 自分が利用者たちに当たり前のように接していたことが、実はよくなかったと勉強になった。						
○ すぐわかりやすく、今の自分に足りないところと知識不足等をひとつでも身につけて、明日からの支援にチャレンジしたいと思った。						

<管理者研修>

(1) 社会福祉施設等施設長研修 **4**

目 的	利用者一人ひとりが、その人らしく暮らせる支援について考えるとともに、組織の運営責任者として現代の社会情勢に適応した施設のあり方を学び、専門性の向上等を図る。					
対象者	社会福祉施設等の施設長又はそれに準ずる者					
日 程	令和4年10月5日（水）	開催場所	社会福祉総合センター 大会議室			
開 催 日 数	1日間×1回	受講者数	実人数	33人	延べ人数	33人
科 目		時 間	講 師：職・氏 名			
福祉現場の人材育成 ～自組織の活性化評価と人事考課制度～		4:00	日本福祉大学 福祉経営学部 学部長・教授 社会福祉法人 睦月会 理事長 綿 祐二			
主な意見						
○ 理論と実践に裏付けされた話でとても参考になり、本施設でも取り入れたい点がい くつかあった。						
○ 資料だけをみると硬い話かと思ったが、実践的、現実的な内容で良かった。						
○ 人事考課について、とてもよく理解できた。						

(2) 保育所長研修 **5**

目 的	保育をめぐる社会的要請や子育て支援のニーズが一層多様化する中、保育所として重大事故を起こさないための予防の基本的な考え方や予防の重要性、具体的な事故事例ごとの対策、また、子どもの多様性を尊重し、子どもの声を聴く実践と園内研修のあり方について学び、保育所長としての資質向上を図る。					
対象者	保育所(園)長、認定こども園長 等					
日 程	令和4年7月26日(火)	開催場所	社会福祉総合センター 大会議室			
開 催 日 数	1日間×1回	受講者数	実人数	70人	延べ人数	70人

科 目	時 間	講 師：職・氏 名
弁護士の立場で考える 保育所におけるリスクマネジメント	2:30	人材育成のスペシャリスト 株式会社ミズ・オフィス所属 弁護士 仙頭 真希子
子どもの声を聴く実践と園内研修のあり方	3:00	香川大学 教育学部 准教授 松井 剛太
主な意見 ○ 弁護士さんの話を聞くことで、自分の園の課題も見えてきて改善しようと思った。 また、松井先生の講義を積み重ねて受けることで実践力も身につくのでよかった。 ○ コロナが増加している中で集合研修が実施されるかどうか心配していたが、参加できてよかった。また、隣の方と話す機会もあり、同じ立場で理解しあえることも多くうれしかった。		

＜キャリアパス対応生涯研修課程＞

(1) キャリアパス対応生涯研修課程（初任者コース） 6

目 的	①職員：自身のキャリアビジョンを描き、知識・能力を段階的・体系的に習得する。 福祉・介護職員が自らのキャリアアップの道筋を描くことができ、キャリアパスの段階に応じて共通に求められる能力を段階的・体系的に習得することを支援すること ②組織：職場でのキャリアパスを構築し、福祉人材の確保と定着を図る。 法人・事業所が主体的に職員のキャリアパスを構築し、これに沿った職員育成施策を確立・実施することを支援すること					
対象者	・新卒入職後、2年程度の職員 ・他業界から福祉職場へ入職後、2年程度の職員					
日 程	令和4年6月16日（木）、17日（金）	研修会場	社会福祉総合センター 大会議室			
開 催 日 数	2日間×1回	受講者数	実人数	41人	延べ人数	82人
	科 目	時 間	講 師：職・氏 名			
1 日 目	【基軸科目の講義と演習】 ・キャリアデザインと自己管理 【基礎科目の講義と演習】 ・福祉サービスの基本理念と倫理 ・フォロワーシップの醸成 【重点科目の講義と演習】 ・対人関係マナーとコミュニケーション	6:30	香川県社会福祉士会 三瀬 誠 香川県社会福祉士会 高木 千晶			
2 日 目	【啓発科目の講義と演習】 【行動指針の策定】 【キャリアデザインとアクションプランの策定】	6:30				

主な意見
○ グループワークで皆と仲良くなれて楽しかった。
○ 最後のアドバイス交換がうれしかった。
○ 具体的にどうするか、もっとシンプルに考え、小さなことからでも取り組んでいきたい。

(2) キャリアパス対応生涯研修課程（中堅職員コース） 7

目 的	初任者コースに同じ					
対象者	担当業務の独力遂行が可能なレベルの職員（入職後、概ね3～5年の節目の職員）					
日 程	令和4年8月26日（金）、27日（土）	研修会場	社会福祉総合センター 大会議室			
開 催 数	2日間×1回	受講者数	実人数	31人	延べ人数	62人
	科 目	時 間	講 師：職・氏 名			
1 日 目	【基軸科目の講義と演習】 ・キャリアデザインと自己管理 【基礎科目の講義と演習】 ・福祉サービスの基本理念と倫理 ・フォローアップの醸成 【重点科目の講義と演習】 ・能力開発と後輩職員の指導	6:20	かがわ総合リハビリテーション 成人支援施設 施設長 小島 正平 香川県障害福祉課 副課長 水永 淳			
2 日 目	【啓発科目の講義と演習】 【行動指針の策定】 【キャリアデザインとアクションプランの策定】	6:30				
主な意見 ○ 目標を決めることは大事なことだと思った。 ○ グループ内での自分の表現の仕方が難しいと感じた。 ○ 全体的に楽しい研修だった。あまり研修は好きではなかったが、飽きることなく楽しめた。						

(3) キャリアパス対応生涯研修課程（チームリーダーコース） 8

目 的	初任者コースに同じ				
対象者	・近い将来、チームリーダー等の役割を担うことが想定される中堅職員 ・現に主任、係長等に就いている職員				
日 程	令和4年9月3日（土）、7日（水）	研修会場	社会福祉総合センター 大会議室		
開 催 数	2日間×1回	受講者数	実人数	34人	延べ人数 68人
	科 目	時 間	講 師：職・氏 名		

1 日 目	【基軸科目の講義と演習】 ・キャリアデザインと自己管理 【基軸科目の講義と演習】 ・福祉サービスの基本理念と倫理 ・リーダーシップの醸成ほか 【重点科目の講義と演習】 ・OJTの効果的推進	6:30	社会福祉法人 喜勝会 理 事 田中 元 社会福祉法人 永世会 愛生苑 施設長 山口 吉英
2 日 目	【啓発科目の講義と演習】 【行動指針の策定】 【キャリアデザインとアクションプラン策定】	6:30	
主な意見 ○ テキスト単体ではわかりづらかったが、説明と一緒に聞くと理解しやすかった。 ○ チームリーダーとして自分に不足している知識や技術を学ぶことができた。 ○ 2日間という短い時間であったが、自分自身を振り返り、またこれからの在り方について考える良い機会をいただいた。			

(4) キャリアパス対応生涯研修課程（管理職員コース） 9

目 的	初任者コースに同じ				
対象者	・近い将来、管理者の役割を担うことが想定される指導的立場の職員 ・現に小規模事業者管理者、部門管理者等に就いている職員				
日 程	令和4年10月13日（木）、 14日（金）	研修会場	社会福祉総合センター 大会議室		
開 催 日 数	2日間×1回	受講者数	実人数	31人	延べ 人数 62人
	科 目	時 間	講 師：職・氏 名		
1 日 目	【基軸科目の講義と演習】 ・キャリアデザインと環境整備 【基礎科目の講義と演習】 ・福祉サービスの基本理念と倫理 ・リーダーシップの醸成 【重点科目の講義と演習】 ・人材アセスメント	6:30	社会福祉法人 喜勝会 理 事 田中 元		
2 日 目	【啓発科目の講義と演習】 ・能力開発、人材育成 ・業務改善 ・リスクマネジメント ・多職種連携、運営管理 【行動指針の策定】 【キャリアデザインとアクションプランの策定】	6:30	香川県社会福祉士会 高橋 順子		

主な意見
○ 日々業務が忙しく失敗している内容の見直しもできず過ごしていたが、ゆっくり考えられる機会となった。もう一度チャレンジしていきたいと思うことができた。
○ 研修を受ける前と受けた後でプロフィールシートを見比べると今回の研修で得たものが何だったのか、自分が本当に目指すべき姿は何か知ることができた。
○ グループワークがメインのため、集中して2日間研修に参加できた。受け身ではなく、自分から意見を出していく場があると成長できると思った。

2 介護保険関係研修

【職種・階層別研修】

(1) 介護支援専門員実務研修・更新研修・再研修(A・Bコース) 10 11 12

目 的	【実務研修】 介護支援専門員として利用者の自立支援に資するケアマネジメントに関する必要な知識及び技能を修得し、地域包括ケアシステムの中で、医療との連携をはじめとする多職種協働を実践できる介護支援専門員の養成を図る。		
	【再研修】 介護支援専門員として実務に就いていない者又は実務から離れている者が今後実務に就くために、介護支援専門員としての必要な知識及び技能の再修得を図る。		
	【更新研修】 介護支援専門員証の有効期限を更新する時に研修の受講を課すことにより、定期的な研修の機会を確保し、介護支援専門員として、必要な知識及び技術の向上を図り、専門職としての能力の保持・向上を図る。		
対象者	【実務研修】 令和4年度介護支援専門員実務研修受講試験に合格した者		
	【再研修】 介護支援専門員証の有効期間が満了した者（研修受講中に有効期間が満了する者も含む）で、新たに介護支援専門員証の交付を受けようとする者		
	【更新研修】 介護支援専門員証の有効期間が、令和6年3月31日以前に満了する者で、以下の①又は②に該当し、有効期間満了後に実務に就く予定の者 ①「実務未経験者」：介護支援専門員証の交付を受けた後、その有効期間が満了するまでに介護支援専門員として実務に従事した経験を有しない者 ②「実務経験者」：介護支援専門員証の有効期間中に、介護支援専門員として実務に従事していた者で、現在、介護支援専門員の業務をしていない者、又は、現在、介護支援専門員として業務に従事しているが、専門研修課程が修了していない者		
日 程	A：令和4年12月22日(木)～令和5年3月14日(火) B：令和4年12月24日(土)～令和5年3月18日(土)	研修方法	①e ラーニング ②オンライン研修
開 催 日 数	10日間または7日間×2コース ※実務研修は実習代替講義を2日間実施	受講者数	実人数 延べ人数
			実務 77人 実務 924人 更新 123人 更新 1,057人 再 38人 再 373人

	科 目	時 間	講 師
講 義	介護保険制度の理念・現状とケアマネジメント	24時間視聴可能	eラーニング 視聴期間 令和4年12月16日(金) ～2月20日(月)
	人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理		
	地域包括ケアシステム及び社会資源		
	ケアマネジメントに必要な医療連携及び多職種協働の意義		
	ケアマネジメントに係る法令等の理解		
	ケアマネジメントのプロセス		
	下記、1日目から9日目までの①～⑮の【講義・演習】科目の【講義】部分		
1日目	①自立支援のためのケアマネジメントの基本【講義・演習】	5:00	介護支援専門員研修指導者
2日目	②相談援助の専門職としての基本姿勢及び相談援助技術の基礎【講義・演習】	3:00	介護支援専門員研修指導者
	③介護支援専門員に求められるマネジメント（チームマネジメント）【講義・演習】	1:00	介護支援専門員研修指導者
	④利用者、多くの種類の専門職等への説明及び合意【講義・演習】	1:00	介護支援専門員研修指導者
3日目	⑤ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術（１）－受付及び相談並びに契約－【講義・演習】	4:30	介護支援専門員研修指導者
	⑥ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術（２）－アセスメント及びニーズの把握の方法－【講義・演習】		介護支援専門員研修指導者
4日目	⑦ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術（３）－居宅サービス計画等の作成－【講義・演習】	5:00	介護支援専門員研修指導者
5日目	⑧ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術（４）－サービス担当者会議の意義及び進め方－【講義・演習】	3:00	介護支援専門員研修指導者
	⑨ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術（５）－モニタリング及び評価－【講義・演習】	3:00	介護支援専門員研修指導者
	実習オリエンテーション	1:00	かがわ健康福祉機構 研修部

実習代替	見学・観察実習の代替講義① ・基本姿勢 ・入口(エントリー) ・契約 ・その他	5:00	介護支援専門員研修指導者
	見学・観察実習の代替講義② ・アセスメント ・プランニング ・モニタリング ・社会資源の活用と連携	7:00	介護支援専門員研修指導者
6 日 目	実習振り返り(実務)	3:00	介護支援専門員研修指導者
	⑩ ケアマネジメントの展開 (1)ー基礎理解ー【講義・演習】	2:00	介護支援専門員研修指導者
7 日 目	⑪ ケアマネジメントの展開 (2)ー脳血管疾患に関する事例ー【講義・演習】	3:00	介護支援専門員研修指導者
	⑫ ケアマネジメントの展開 (3)ー認知症に関する事例ー【講義・演習】	3:00	介護支援専門員研修指導者
8 日 目	⑬ ケアマネジメントの展開 (4)ー筋骨格系疾患及び廃用症候群に関する事例ー【講義・演習】	3:00	介護支援専門員研修指導者
	⑭ ケアマネジメントの展開 (5)ー内臓の機能不全に関する事例ー【講義・演習】	3:00	介護支援専門員研修指導者
9 日 目	⑮ ケアマネジメントの展開 (6)ー看取りに関する事例ー【講義・演習】	3:00	介護支援専門員研修指導者
10 日 目	アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習	5:00	介護支援専門員研修指導者
	研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り	2:00	香川県長寿社会対策課 介護支援専門員研修指導者
主な意見 ○ 多職種でグループワークをすることによって、自分の得意な分野や他職の得意な分野を明確に知ることができた。同時に自分の至らぬ点も良く分かり今後の学習に活かせる研修となった。 ○ 研修の回数を重ねる度に漠然としていたことが徐々に理解できるようになった。研修中、常に感じていたことは介護支援専門員の方々は人格者が多いと思った。常に利用者さんに寄り添った姿勢と考え方が利用者さんから信頼されていることが理由だと思う。 ○ オンライン研修でもロールプレイングや DVD 視聴、グループワークがあり、単調にならないように工夫がされていた。 ○ 5年以上ケアマネジャーの業務から離れていたこともあり、プランの立案の考え方や記載方法などが変更されていたが、ケアマネジャーとしての考え方や対応方法を再確認できた。			

- 今回の更新研修を受けて、5年前と比べて医学的な知識や多職種との連携が求められる場面が多くなっていると感じた。
- 更新研修を何度か受講しているが、高齢者を取り巻く環境や施策に変化があるため、学びの継続の大切さを改めて感じた。

(2) 要介護認定・課題分析(アセスメント)方式別研修 13 14

目 的	介護支援専門員実務研修の実施にあたり、要介護認定及び課題分析(アセスメント)の各方式について、理解を深める。					
対象者	介護支援専門員実務の受講者及び受講希望者					
日 程	令和5年1月11日(水)	研修会場	社会福祉総合センター ①大会議室、②第1中会議室			
開 催 日 数	1日間×2コース	受講者数	実 人 数	①43人 ②15人 計58人	延べ 人 数	①43人 ②15人 計58人
科 目		時 間	講 師			
要介護認定研修 ・要介護認定の仕組みと考え方 ・介護認定審査会の手順とポイント		2:00	香川県長寿社会対策課			
①居宅サービス計画ガイドライン方式 ・方式別課題分析の理解と演習		4:30	介護支援専門員研修指導者			
②三団体ケアプラン策定研究会方式 ・方式別課題分析の理解と演習		4:00	介護支援専門員研修指導者			
主な意見						
○ コロナのため、相互の活発な意見交換や体験から学ぶことができず残念であったが、その分、優秀な指導者の方々からわかりやすく丁寧に重要な所を繰り返し教えてもらったので、今後に生かしていきたい。						
○ 方式別研修会では実際にケアチェック・計画書の作成を行ってみたが、自分が専門職のため言葉にとらわれてしまい、当初はうまく作成できなかった。しかし、指導者の方の講義を受けることでコツをつかめるようになった。						

(3) 介護支援専門員 専門研修課程Ⅰ(更新に係る研修・スキルアップ研修) 15 16

目 的	介護支援専門員として一定の実務経験をもとに、必要に応じた専門知識及び技能の修得を図ることにより、その専門性を高め、多様な疾病や生活状況に応じて、医療との連携や多職種協働を図りながらケアマネジメントを実践できる知識・技術を修得し、もって介護支援専門員としての資質の向上を図る。					
対象者	【更新に係る研修】 介護支援専門員として現在実務に従事しており、介護支援専門員証の有効期間満了日が、令和5年(平成35年)10月末日以前の者 【スキルアップ研修】 介護支援専門員として現在実務に従事しており、就業後6か月以上の者					
日 程	6月21日(火)、25日(土)、28日(火)、7月1日(金)、13日(水)、16日(土)	研修方法	①eラーニング ②オンライン研修			

開 催 日 数	6 日間× 1 回		受講者数	実人数		延べ人数	
				更新	49 人	更新	294 人
				スキル アップ	47 人	スキル アップ	282 人
科 目			時 間	講 師			
講 義	介護保険制度及び地域包括ケ アシステムの現状		24 時 間 視 聴 可 能	e ラーニング 視聴期間 6 月 9 日 (木) ～ 7 月 15 日 (金)			
	ケアマネジメントに必要な医 療との連携及び多職種協働の 実践						
	ケアマネジメントの実践にお ける倫理						
	対人個別援助技術及び地域援 助技術						
	個人での学習及び介護支援専 門員相互間の学習						
	下記、①～⑦の 7 領域の講義						
1 日 目	ケアマネジメント実践の振 り返りと学習課題の設定Ⅰ		5:30	介護支援専門員研修指導者			
2 日 目	ケアマネジメント実践の振 り返りと学習課題の設定Ⅱ		6:30	介護支援専門員研修指導者			
3 日 目		①社会資源の活用に向け た関係機関との連携に 関する事例【演習】	3:00	介護支援専門員研修指導者			
		②家族への支援の視点が 必要な事例【演習】	3:00	介護支援専門員研修指導者			
4 日 目	ケ ア マ ネ ジ メ ン ト	③リハビリテーション・ 福祉用具の活用に関す る事例【演習】	3:00	介護支援専門員研修指導者			
		④認知症に関する事例 【演習】	3:00	介護支援専門員研修指導者			
5 日 目	の 演 習	⑤入退院時等における医 療との連携に関する事 例【演習】	3:00	介護支援専門員研修指導者			
		⑥看取り等における看護 サービスの活用に関す る事例【演習】	3:00	介護支援専門員研修指導者			
6 日 目		⑦状態に応じた多様なサ ービス(地域密着型サ ービス、施設サービス 等)の活用に関する事 例【演習】	3:00	介護支援専門員研修指導者			
		研修全体を振り返っての意見 交換、講評、ネットワー ク作り	2:00	介護支援専門員研修指導者			

主な意見	
○	日々の業務において、今回の研修を通して立ち止まり、改めて自分の得意・不得意を見直すことができた。山口指導者をはじめ講義を拝聴し、エコマップを利用する重要性や自分の弱みとするところを逆に活かす等の発想の転換の大切さを学ぶことができた。
○	Web 研修が初めての経験でグループワークに不安な気持ちがあったが、実際に行ってみると思ったよりグループワークがしっかりできてよかった。また、研修での事例で実際に今回の受講者の方の事例を出されていたが、受講者の説明や実際の事例を見聞きすることにより、自分の力不足を感じた。
○	あらためて制度や地域包括システム等ケアマネジャーとして働き支援していく中で、大切なこと、支援の根拠に関わる制度を確認することができた。また、参考文献やホームページ等からの制度根拠の情報提供があったので、わかりやすかった。

(4) 介護支援専門員専門研修課程Ⅱ

(更新に係る研修・スキルアップ研修)(A・Bコース) **17** **18**

目 的	介護支援専門員としての一定の実務経験をもとに、必要に応じた専門知識及び技能の修得を図ることにより、その専門性を高め、多様な疾病や生活状況に応じて、医療との連携や多職種協働を図りながらケアマネジメントを実践できる知識及び技術を修得し、もって介護支援専門員としての資質の向上を図る。					
対象者	【更新に係る研修】 介護支援専門員として現在実務に従事しており、介護支援専門員証の有効期間満了日が、令和5年6月末日以前の者（5月開催研修の場合）、令和5年10月末日以前の者（9月開催研修の場合）で、次の①②のいずれかにあたる者 ①かつて、専門研修課程Ⅰ（又はⅠが免除となる研修）または専門研修課程Ⅱを修了の上、介護支援専門員証の有効期間更新をしたことがある者。 ②現在所持している介護支援専門員証の有効期間満了日前5年以内に、専門研修課程Ⅰを修了している者。 【スキルアップ研修】 介護支援専門員として現在実務に従事しており、就業後概ね3年以上の方で、次の①②のいずれかにあたる者。 ①かつて、専門研修課程Ⅰ（又はⅠが免除となる研修）及び専門研修課程Ⅱを修了の上、介護支援専門員証の有効期間更新をしたことがある者。 ②現在所持している介護支援専門員証の有効期間満了日前5年以内に、専門研修課程Ⅰを修了している者。					
日 程	Aコース(5月開催) 4日間 5月27日(金)、31日(火)、 6月3日(金)、11日(土) Bコース(9月開催) 4日間 9月28日(水)、10月3日 (月)、11日(火)、15日(土)	研修方法	①e ラーニング ②オンライン研修			
開 催 数	4日間×2コース	受講者数	実人数		延べ人数	
			更 新	A95人 B92人	更 新	A380人 B368人
			スキル アッ プ	A26人 B32人	スキル アッ プ	A104人 B128人

科 目		時 間	講 師
講 義	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開（各コース共通）	24時間視聴可能	eラーニング 視聴期間 Aコース（5月開催） 5月12日(木)～6月9日(木) Bコース（9月開催） 9月8日(木)～10月13日(木)
	下記①～⑦の7領域の講義		
Aコース（5月開催） 4日間			
1日目	①入退院時等における医療との連携に関する事例【演習】	3:00	介護支援専門員研修指導者
	②看取り等における看護サービスの活用に関する事例【演習】	3:00	介護支援専門員研修指導者
2日目	③社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例【演習】	3:00	介護支援専門員研修指導者
	④家族への支援の視点が必要な事例【演習】	3:00	介護支援専門員研修指導者
3日目	⑤リハビリテーション・福祉用具の活用に関する事例【演習】	3:00	介護支援専門員研修指導者
	⑥認知症に関する事例【演習】	3:00	介護支援専門員研修指導者
4日目	⑦状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス等）の活用に関する事例【演習】	3:00	介護支援専門員研修指導者
Bコース（9月開催） 4日間			
1日目	①リハビリテーション・福祉用具の活用に関する事例【演習】	3:00	介護支援専門員研修指導者
	②認知症に関する事例【演習】	3:00	介護支援専門員研修指導者
2日目	③入退院時等における医療との連携に関する事例	3:00	介護支援専門員研修指導者
	④看取り等における看護サービスの活用に関する事例【演習】	3:00	介護支援専門員研修指導者
3日目	⑤社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例【演習】	3:00	介護支援専門員研修指導者
	⑥家族への支援の視点が必要な事例【演習】	3:00	介護支援専門員研修指導者

4 日 目	⑦状態に応じた多様なサービス(地域密着型サービス、施設サービス等)の活用に関する事例【演習】	3:00	介護支援専門員研修指導者
主な意見 ○ 事前に課題を送っていただいたので演習前に事例を読み込むことができ、当日に備えることができた。また、座学に関しては、空き時間を利用できたのは助かった。 ○ 利用者一人一人支援は違い、また取り巻く周りの環境も違う。総合的、包括的に今時点のことだけでなく、将来的なことも視野に入れ、社会資源を活用し、多職種連携し、24時間365日切れ目のないケアプランを作成しなければならないと感じた。 ○ リモートでの研修を終えて、想像していたよりも快適でグループワークもスムーズにできたので良かった。今後も、効率化を図るために、どんどんICT化は加速していただきたい。			

(5) 主任介護支援専門員研修 19

目 的	介護保険サービスや他の保健・医療・福祉サービスを提供する者との連絡調整、他の介護支援専門員に対する助言・指導などケアマネジメントが適切かつ円滑に提供されるために必要な業務に関する知識及び技術を修得するとともに、地域包括ケアシステムの構築に向けた地域づくりを実践できる主任介護支援専門員の養成を図る。
対象者	介護支援専門員の業務に関し十分な知識と経験を有する介護支援専門員であり、主任介護支援専門員としての役割を果たす者を養成する観点から、利用者の自立支援に資するケアマネジメントが実践できていると認められる者で、介護支援専門員専門研修課程Ⅰ及びⅡの受講修了者のうち、次の①、②、③、④のいずれかに該当する者。 ① 主任介護支援専門員に準ずる者として、現に地域包括支援センターに配置されている者。(「主任介護支援専門員に準ずる者」とは、ケアマネジメントリーダー養成研修(平成14～17年度)を修了した者を指します) ② ケアマネジメントリーダー養成研修(平成14～17年度)を修了した者又は日本ケアマネジメント学会が認定する認定ケアマネジャーであって、専任※の介護支援専門員として従事した期間(令和4年6月末時点)が通算して3年(36ヶ月)以上である者。(ただし、居宅介護支援事業所において、管理者との兼務は期間として算定できます。) ③ 専任※の介護支援専門員として従事した期間(令和4年6月末時点)が通算して5年(60ヶ月)以上である者。(ただし、居宅介護支援事業所において、管理者との兼務は期間として算定できます。) ④ 次の要件のいずれかに該当し介護支援専門員の業務に関し十分な知識と経験を有するものとして、市町から推薦された者。 ア 県、市町等が実施する介護支援専門員を対象とした研修において、講師・助言者等の実績がある者 イ 市町が設置する介護保険関係の相談窓口で、介護支援専門員からの相談を受けた実績がある者 ウ 市町が主催する事例検討会等において、ケアプラン指導等に携わった経験、実績がある者 ※専任とは、当該事業所における介護支援専門員としての勤務時間が、当該事業所において定められている常勤の従業者が勤務すべき時間数(週32時間を基本とする。)に達しており、主たる業務が介護支援専門員である方のこと。

日 程	10月22日(土)、28日(金)、11月3日(木)、5日(土)、12日(土)、17日(木)、24日(木)、30日(水)、12月7日(水)	研修方法	【1日目～2日目】オンライン研修			
		研修会場	【3日目～9日目】集合研修 社会福祉総合センター 大会議室			
開 催 日 数	9日間×1回	受講者数	実人数	66人	延べ人数	591人
科 目		時 間	講 師			
講 義	①主任介護支援専門員の役割と視点	24時間視聴可能	eラーニング 視聴期間 10月5日(水)～11月16日(水)			
	②ケアマネジメントの実践における倫理的な課題に対する支援					
	③ターミナルケア					
	④人材育成及び業務管理					
	⑤運営管理におけるリスクマネジメント					
	下記⑥～⑧の講義					
1日目	⑥ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実現	4:00	学識経験者			
2日目	⑦地域援助技術	4:00	学識経験者			
3～5日目	⑧対人援助者監督指導	16:00	学識経験者			
6～8日目	⑨ 個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導・支援の展開(1)	16:00	学識経験者			
9日目	個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導・支援の展開(2)	6:00	学識経験者			
主な意見						
○ 対人援助の手法を学んだが、今まで自分が聞きたいことを質問するというアセスメントの仕方では利用者の思いをうまく引き出すことができていなかったと感じた。						
○ 今まで自分に無かった視点や考え方を毎回教えていただき、グループセッションする中で学び、都度、悟った気持ちになり、再び悩みを繰り返した。研修全般を通じて何を得られたかを言語化するには、まだ時間を要するが、明らかに研修受講前と受講後ではやる気と自信がでていることに驚いている。						
○ 介護支援専門員を支援するにあたり、スーパーバイザーがどのように気づかせるかという視点で話し合いを進めていくことの重要性が理解できた。また、スーパーバイザーを支援することは、スーパーバイザーの成長につながると感じた。						
○ Web研修での学習が多かったため、自由な受けられる利便性を感じたが、いざ集合研修が始まるとグループで対面し、実践的なことを学ぶことができ実りあるものとなった。また、机無しでの学習は新鮮であり、疲労感もあったが講師の先生方には熱心に教えていただき、感謝している。						

(6) 主任介護支援専門員更新研修 20

目 的	主任介護支援専門員に対して、主任介護支援専門員研修修了証明書の有効期限の更新時に併せて、研修の受講を課すことにより、継続的な資質向上を図るための定期的な研修受講の機会を確保し、主任介護支援専門員の役割を果たしていくために必要な能力の保持・向上を図る。						
対象者	受講対象者は、次の研修を修了した者のうち、研修修了後から令和4年3月31日までに下記の受講要件を満たしている者とする。 ・平成29年度主任介護支援専門員研修または主任介護支援専門員更新研修 ・平成30年度主任介護支援専門員研修または主任介護支援専門員更新研修 【受講要件】 (1) 介護支援専門員に係る法定研修の企画、講師やファシリテーターの経験がある者 ・実務研修の見学・観察実習指導者（主任介護支援専門員）は、2年の実績があること (2) 地域包括支援センターや職能団体等が開催する法定外の研修等を年間4回以上受講した年が2年以上ある者 注1) 「年間」とは4月1日から翌年3月31日をまでを1年間と数えること（年度単位）。 注2) 前回の主任更新研修をみなし受講者として受講した者について、すでにカウントした法定外研修はカウントできない。 注3) 平成29年度の当該研修修了者で、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響により年間4回以上の法定外の研修が受講できず、要件を満たすことができていない者については、令和4年度にその不足回数分の受講修了後、速やかに県に報告することを条件に、この要件に該当するとみなす。 (3) 日本ケアマネジメント学会が開催する研究大会等において、演題発表等の経験がある者 (4) 日本ケアマネジメント学会が認定する認定ケアマネジャー (5) (1)～(4)以外で、主任介護支援専門員の業務に十分な知識と経験を有する者であり、都道府県が適当と認める者（以下の推薦基準のいずれかを満たし、市町または県の推薦が必要） <table border="1" data-bbox="437 1429 1331 1933"> <tr> <td data-bbox="437 1429 759 1675" rowspan="3">①市町が実施する介護支援専門員を対象とした研修会の講師等資質向上に関わっている者。</td><td data-bbox="759 1429 1331 1503">i) 市町の研修の企画、研修の講師及びファシリテーター等の役割を務めている者。</td></tr> <tr> <td data-bbox="759 1503 1331 1579">ii) 市町で事例検討会等でのケアプランの指導をしている者。</td></tr> <tr> <td data-bbox="759 1579 1331 1675">iii) 市町が実施するケアプランチェックについて支援等している者（市町の依頼）。</td></tr> <tr> <td data-bbox="437 1675 759 1933">②主任介護支援専門員としての活動を積極的にしていると認められる者。</td><td data-bbox="759 1675 1331 1933"> i) 同行支援事業等で新任期の介護支援専門員に対するアドバイザーとして活動している者。 ii) 地域別主任介護支援専門員連絡勉強会等の主任介護支援専門員を対象とする研修会の企画運営を実施している者（参加のみは除く）。 </td></tr> </table>	①市町が実施する介護支援専門員を対象とした研修会の講師等資質向上に関わっている者。	i) 市町の研修の企画、研修の講師及びファシリテーター等の役割を務めている者。	ii) 市町で事例検討会等でのケアプランの指導をしている者。	iii) 市町が実施するケアプランチェックについて支援等している者（市町の依頼）。	②主任介護支援専門員としての活動を積極的にしていると認められる者。	i) 同行支援事業等で新任期の介護支援専門員に対するアドバイザーとして活動している者。 ii) 地域別主任介護支援専門員連絡勉強会等の主任介護支援専門員を対象とする研修会の企画運営を実施している者（参加のみは除く）。
①市町が実施する介護支援専門員を対象とした研修会の講師等資質向上に関わっている者。	i) 市町の研修の企画、研修の講師及びファシリテーター等の役割を務めている者。						
	ii) 市町で事例検討会等でのケアプランの指導をしている者。						
	iii) 市町が実施するケアプランチェックについて支援等している者（市町の依頼）。						
②主任介護支援専門員としての活動を積極的にしていると認められる者。	i) 同行支援事業等で新任期の介護支援専門員に対するアドバイザーとして活動している者。 ii) 地域別主任介護支援専門員連絡勉強会等の主任介護支援専門員を対象とする研修会の企画運営を実施している者（参加のみは除く）。						

日 程	8月17日(水)、24日(水)、 9月2日(金)、10日(土)	研修方法	①eラーニング ②オンライン研修			
開 催 日 数	4日間×1回	受講者数	実人数	85人	延べ 人数	340人
科 目		時 間	講 師			
講 義	介護保険制度及び地域包括ケア システムの動向	24時間視 聴可 能	eラーニング 視聴期間 8月1日(月)～9月8 日(木)			
	下記①～⑦の7領域の講義					
1 日 目	主 ①社会資源の活用に向けた関 任 係機関との連携に関する事 介 例【演習】 支 援	4:00	介護支援専門員研修指導者			
	②家族への支援の視点が必要 専 となる事例【演習】 門 員	4:00	介護支援専門員研修指導者			
2 日 目	③リハビリテーション・福祉 と 用具の活用に関する事例 の 【演習】 実 践	4:00	介護支援専門員研修指導者			
	④認知症に関する事例【演 振 習】 り	4:00	介護支援専門員研修指導者			
3 日 目	⑤入退院時等における医療と 返 の連携に関する事例【演 り 習】 と 指 導	4:00	介護支援専門員研修指導者			
	⑥看取り等における看護サー 及 ビ ビスの活用に関する事例 支 援 【演習】 の 実 践	4:00	介護支援専門員研修指導者			
4 日 目	⑦状態に応じた多様なサービ ス（地域密着型サービス、 施設サービス等）の活用に 関 する事例【演習】	4:00	介護支援専門員研修指導者			

主な意見	
○	参加したグループは意見が活発で、グループメンバーの基礎資格や地域もいろいろな人がいたのでいろいろな意見を聞いた。また、自分以外は女性だったので、声掛けの仕方が優しく感じた。自分も後輩に声掛けするときは、できない点言うのではなく、頑張っている点ももっと褒めてあげたいと思った。
○	オンライン研修であったが、他事業所の主任介護支援専門員の方たちと意見交換や情報交換できたことがよかった。また、時々、指導や助言に悩むこともあったが、こうやって意見交換ができ、違う視点での指導方法や助言内容、声掛けの工夫などを学ぶことができた。指導はすぐに答えを出すのではなく、各事例の特徴を把握し、今回の研修で学んだことを生かして介護支援専門員が気づきけるように指導したい。
○	グループワークで指導事例検討の際、事例を掘り下げるのに気をとられて、指導内容の意見が出なかったとき、グループを指導してくれたファシリテーターの方が指摘してくれたおかげで、その後のグループワークがうまく行えた。ファシリテーターの方がとても熱心に見守ってくれたことがよかった。

【課題別研修】

(1) サービス提供責任者実践力研修 21

目 的	訪問介護事業所のサービス提供責任者等を対象として、訪問介護員に必要な知識・技術及び事業所内の指導・教育方法の習得を図るとともに、その役割についての理解を深め、適正なサービス提供と業務遂行能力の一層の向上を図る。						
対象者	指定訪問介護事業所のサービス提供責任者等						
日 程	令和4年9月9日(金)	研修方法	【1日目】集合研修				
	令和4年9月21日(水)	研修会場	【2日目】オンライン研修 社会福祉総合センター 大会議室				
開 催 日 数	2日間×1回		受講者数	実人数	43人	延べ人数	77人
科 目			時 間	講 師：職・氏 名			
1 日 目	【講義】 ・訪問介護計画書、手順に関すること 【演習】グループワーク ・持ち寄った困難事例の介護計画書		6:00	株式会社 六花 代表取締役 大山 佳子			
2 日 目	【講義】 ・サービス提供責任者の業務と役割に関すること 【講義】 ・訪問介護員への指導・教育に関すること ・多職種との連携及びコミュニケーション技術		5:00	株式会社 六花 代表取締役 大山 佳子			
	【講義】 ・サービス提供責任者に必要な医療知識や緊急時対応		1:30	独立行政法人 国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター 附属善通寺看護学校 非常勤講師 阿部 美知子			

主な意見
○ 医療知識や緊急時対応の研修はよくわかった。
○ 大山先生は、はっきりとおだやかな話し方で聞き取りやすかった。阿部先生は、大事なことを具体的に示してくださり、知識を広げる方法もわかった。
○ サービス提供責任者としての基本的な部分が再認識できた。

(2) 施設介護支援専門員専門研修 22

目 的	近年、多発する自然災害や新型コロナウイルス感染防止対策への取り組みを実施している高齢者介護施設において、利用者の安心・安全な生活を実現するため、リスクマネジメントの展開を充実することが重要となっている。 当研修は、このリスクマネジメントの要となる施設介護支援専門員に対して、施設介護サービスでのリスク管理や施設介護支援専門員の役割の理解を深め、生活の質を向上する介護サービス計画書の策定について、講義と演習により実践的に学ぶことを目的とする。					
対象者	相談員、支援員、指導員、介護職、介護支援専門員、カウンセラー、ソーシャルワーカーその他の対人援助・相談援助業務の従事者及び関心のある方					
日 程	令和4年9月22日(木)	会場	社会福祉総合センター 大会議室			
開 催 日 数	1日間×1回	受講者数	実人数	38人	延べ人数	38人
科 目		時 間	講 師：職・氏 名			
〔演習〕 ・施設介護サービスでのリスク 〔講義〕 ・介護施設におけるリスクマネジメント 〔講義〕 ・施設介護支援専門員の役割 〔講義・演習〕 ・ケアプランニング		5:20	社会福祉法人 喜勝会 理 事 田中 元			
主な意見						
○ 私たちは常にリスクと隣り合わせでマネジメントしていると改めて思った。また、どんなリスクにも幅広い観点から対応できるようにしていきたいと思った。						
○ リスクコミュニケーションはとても大切だと思った。						
○ 日頃から家族とのコミュニケーション、信頼関係の構築に意識しているが、改めて意識を深めることができた。						

3 特別研修

【課題別研修】

(1) 対人援助技術専門研修 23

目 的	対人援助技術のスキルアップを図り、様々な課題やニーズをもつ来談者・利用者に対する応用力・実践力を高めるとともに、自己理解を深めることにより、相談面接や対人援助の業務に携わっている方の資質の向上と意欲の増進を図る。					
対象者	相談員、支援員、指導員、介護職、介護支援専門員、カウンセラー、ソーシャルワーカーその他の対人援助・相談援助業務の従事者及び関心のある方					
日 程	令和4年7月22日(金)	研修会場	社会福祉総合センター 大会議室			
開 催 日 数	1日間×1回	受講者数	実人数	36人	延べ人数	36人

科 目	時 間	講 師：職・氏 名
【講義・演習】 信頼関係を醸成する話の聴き方を学ぶ ～「マインドフルネス」「安心な場 づくり」の体験を通して～	2:30	四国学院大学 名誉教授 島影 俊英
【講義・演習】 今こそ「マインドフルネス」 一先の見えない不安の時代を乗り越 える力を高めようー	3:00	鳥取大学大学院 医学系研究科 教授 竹田 伸也
主な意見 ○ マインドフルネスの概念を知らなかったので新鮮な発見があった。 ○ コロナ禍での研修で大変ながらよく配慮されていた。 ○ 今後もう1度マインドフルネスについて学びたい。		

(2) リスクマネジメント研修 24

目 的	施設や職場におけるリスクマネジメントの実践について学び、トラブル発生時の対応や予防の能力を高め、安定した業務活動の継続を図る。					
対象者	・施設、事業所において危機管理を担当する職員 ・受講希望者					
日 程	令和4年8月9日（火）	研修会場	社会福祉総合センター 大会議室			
開 催 日 数	1 日間×1 回	受講者数	実人数	52 人	延べ 人数	52 人
科 目		時 間	講 師：職・氏 名			
【講義】 介護現場の損害賠償リスク対策 ～判例が教えてくれる『やるべきこと』とは～		2:30	のぞみ総合法律事務所 弁護士 池内 優太			
【講義・演習】 職場全体で取り組むBCP（事業継続計画） ～BCPを職員の育成に活かす～		3:00	株式会社ミズ・オフィス所属講師 石原 誠吾			
主な意見						
○ 実際にあった事例をもとにして説明していただき、施設に生かせると思った。						
○ 内容を踏まえて、現場スタッフと情報交換しリスク回避を考えていきたい。						
○ 職場に戻って、職員同士で災害時の対応について話し合いたい。						

(3) レクリエーション・アクティビティ研修 25

目 的	高齢者・障害者の生活の質を高め日常が豊かになるよう、レクリエーションを介護の中に取り入れて楽しく介護を行う方法や、レクリエーション素材のアレンジ等の具体的実施方法を学ぶと共に、入所施設やデイサービスですぐに活用できるアクティビティの知識とスキルの習得を図る。					
対象者	入所施設やデイサービスセンター等において、レクリエーション及び介護予防プログラムを担当する職員又は受講を希望する者					
日 程	令和4年6月10日(金)	研修会場	社会福祉総合センター 大会議室			
開 催 日 数	1日間×1回	受講者数	実人数	51人	延べ 人数	51人

科 目	時 間	講 師：職・氏 名
【講義・実技】 コロナで家に閉じこもりがちですね。少し身体を動かして“スカット”しましょう！ ・おちゃのま体操 ・脳トレ体操 【実技】 ・貴方と私はピッタンコ ・気まぐれピンポン ・棒抜きゲーム ・コロ点 ・玉点	5:30	デイホーム「ちやのま」 施設長 東京都福祉 レクリエーション・ネットワーク 役員 村松 郁恵
主な意見 ○ 実技がある研修をコロナ禍の中で行えたことはとてもよかった。楽しい研修が受講できたことはとてもよかった。 ○ 全く知らなかったレクやゲームを知れてよかった。できそうなものもあったので、また施設で実践してみようと思った。 ○ 現場に取り入れられる体操だったので利用させていただきたいと思った。		

(4) 介護技術特別研修 26

目 的	日々の介護を振り返り、エビデンスとエンパワメントに基づく介護を考えるとともに、今、最も新しく、専門性の高い技術を学ぶことにより、介護者としての資質の向上を図る。また、新型コロナウイルス対応等の感染症への心構えなどリスクマネジメントについて学ぶ。					
対象者	社会福祉施設等で直接介護にあたる職員又は受講希望者					
日 程	令和4年8月2日（火）	研修会場	社会福祉総合センター 大会議室			
開 催 日 数	1日間×1回	受講者数	実人数	46人	延べ 人数	46人
科 目		時 間	講 師：職・氏 名			
介護実践における合理的配慮とは ～日々の介護を振り返り、利用者本位の 介護や意思決定支援を考える～		6:00	日本福祉大学 福祉経営学部 学部長・教授 社会福祉法人 睦月会 理事長 綿 祐二			
主な意見						
○ 印象に残った言葉は、福祉に必要な雑談力であり、コミュニケーションが大事だと十分わかった。						
○ 普段あまり考えることのない性的支援や安楽死について深く考えるようになった。						
○ グレーゾーンをなくすための話し合いが勉強になった。						

(5) 認知症予防研修会 27

目 的	厚生労働省研究班の調査によると、認知症高齢者数は2012年時点で約462万人、2025年には約700万人に達すると見込まれており、そうした中で、介護現場などにおける認知症予防についての理解の促進、援助のより一層の専門性が求められている。
-----	--

	この研修では、認知症の予防から、重度化をくい止めるための二次予防やリハビリテーションの方法等を学び、認知症介護の知識と技術のさらなる向上を図る。					
対象者	認知症介護（予防）に従事する方、その他受講を希望する方					
日 程	令和4年11月11日（金）	研修会場	社会福祉総合センター 大会議室			
開 催 日 数	1日間×1回	受講者数	実人数	53人	延べ 人数	53人
科 目		時 間	講 師：職・氏 名			
認知症ケアに活かす行動療法		2:00	鳥取大学大学院 医学系研究科 教授 竹田 伸也			
認知症の人の意思決定支援 【講義】 （1）パーソンセンタードケア （2）認知症施策推進大綱 （3）認知症の人の意思決定支援 【演習】 （1）自己課題の設定 （2）マンダラチャート		3:30	社会福祉法人 喜勝会 理 事 田中 元			
主な意見						
○ 行動療法の研修では色々なレンズを通しての見方や概念にとらわれずものごとを見ていくことが大事だと感じた。						
○ 実例も踏まえながらユニークな話もあり、2時間があっという間だった。						
○ 患者さんの意志を重点に置いての観察・判断力も必要だと思った。						

（6）介護トピックセミナー 28

目 的	在宅や施設・事業所などの介護現場が抱える課題のうち、口腔ケア及び感染対策について理解を深めるとともに、具体的な実践方法を学び、Q O L（生活の質）の向上や尊厳の保持に係る専門性の一層の向上を図る。					
対象者	介護、看護等に従事する職員、又は関心のある方					
日 程	令和4年10月6日（木）	研修会場	社会福祉総合センター 大会議室			
開 催 日 数	1 日間× 1 回	受講者数	実人数	31 人	延べ 人数	31 人
科 目		時 間	講 師：職・氏 名			
さあ！今こそ口腔ケア ー感染に留意しながら感染予防ー		2:00	四国こどもとおとなの医療センター 歯科衛生士 土田 佳代			
自立の支援とケアの質向上に向けた環境整備 ～介護に必要な福祉用具の実践的活用と業務効率向上～		2:30	一般社団法人 ナチュラルハートフル ケアネットワーク所属 理学療法士・介護福祉士 福島 寿道			
主な意見						
○ 口腔ケアについて、あらためて大切な部分を確認できた。						
○ 写真で取り上げた口腔を見て自分の働いている施設でも同様の方がいると思った。 適切な治療を受けて介護者としてできる限り丁寧なブラッシングを行いたい。						
○ ノーリフティングやポジショニングの重要性、福祉用具の大切さが伝わってきた。						

(7) 子育て支援研修 29

目 的	子育てを支援・活性化していくため、地域における子育てに携わる者の子育て支援に関する知識を深めるとともに、技術の習得を図る。					
対象者	保育所・地域子育て支援センターの職員、子育てボランティアとして活動中の方、児童館職員、市町児童福祉担当職員等					
日 程	令和4年10月19日（水）	研修会場	社会福祉総合センター 大会議室			
開 催 日 数	1 日間× 1 回	受講者数	実人数	34 人	延べ 人数	34 人
科 目		時 間	講 師：職・氏 名			
【講義】 子育て支援は保育の要(かなめ)		2:00	元高松短期大学 保育学科 准教授 山本 幾代			
【講義・実技】 保育現場で活かせる美術工芸 ～色が変わる科学遊び・紙染めの活用～ ①色が変わる色素を使った科学遊びを 体験する ②和紙染めとその展開例を体験する		3:00	香川短期大学 子ども学科第Ⅲ部 教授 辻 真樹			
主な意見 ○ 科学遊びがとても楽しかった。 ○ 子育て支援に対して考えさせられた。日々の保護者との関わりについて担当同士で考えたい。 ○ 美術工芸では私自陣ワクワクするような体験ができ、園に持ち帰り子供たちと楽しみたい。						

(8) 接遇力研修 30

目 的	医療・福祉などの現場で働く方の組織人としての役割や接遇について学ぶとともに、メンタルケアについての知識を身につけ実践できるようにして、職務遂行のために必要な適応力やストレス対応力を養う。					
対象者	医療機関や福祉施設等で働く職員、その他受講を希望する方					
日 程	令和4年11月16日（水）	研修会場	社会福祉総合センター 大会議室			
開 催 日 数	1 日間×1 回	受講者数	実人数	44 人	延べ 人数	44 人
科 目		時 間	講 師：職・氏 名			
【講義・実技】 今の時代を生き抜くための接遇 UP 術		5:30	人材育成のスペシャリスト 株式会社ミズ・オフィス 代表取締役 土居 珠見			
主な意見						
○ 仕事に慣れてくると疎かになってくるところを再確認できた。						
○ 日々、利用者への傾聴を心掛けていたが、あらためて話を聴くということ、目線や言葉遣いなどを学ぶことができたので、今回学んだことを他の職員の方にもつなげていけるよう接遇に努めてまいりたい。						
○ 報連相は大切だということは理解していたが、改めて大切さがわかった。自分の施設の道のりがうまく説明できないので、できるようにしたい。						



お問合せは

(公財) かがわ健康福祉機構 研修部

〒760-0017 高松市番町一丁目 10 番 35 号

社会福祉総合センター 6 階

TEL 087 (835) 3807

FAX 087 (835) 4777

e-mail kensyu@kagawa-swc.or.jp

U R L <https://www.kagawa-swc.or.jp/home/home.htm>